

要望書について

学生のみなさんがより良い学生生活を送るためにはみなさんの要望を実現させる必要があります。

しかし、大学に対して個人で訴えかける形では要望の切実さが伝わりにくいなどの理由から要望の実現が難しくなってしまいます。

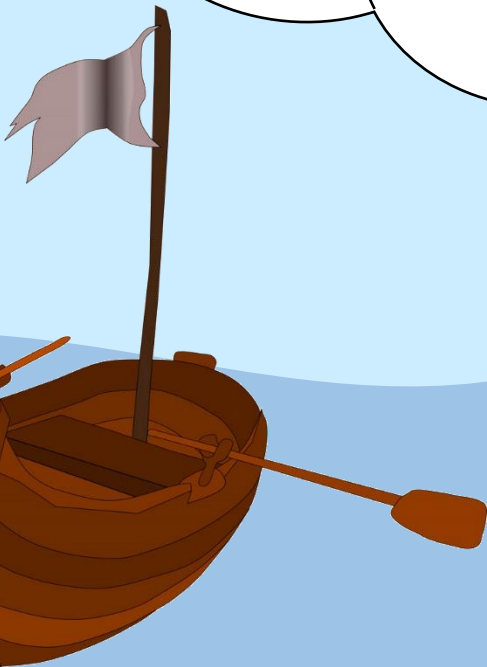
学生の総意として要望書を作成し大学に訴えかけることで学生自治会は要望の実現を目指します！



今までに実現された要望例として

- ・ 図書館の利用時間の延長
 - ・ 各講義室へのエアコンの設置
 - ・ 食堂の増改築
 - ・ 生協前スロープの設置
 - ・ 授業料減免制度の審査基準の一部改定
- などがあります。

次ページで要望書に関する活動を紹介します！

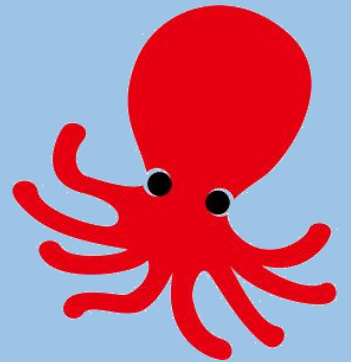


要望アンケートの実施

要望を実現するためには、大学に対する学生の要望内容について学生自治会が十分把握する必要があります。

そこで、中百舌鳥キャンパスおよびりんくうキャンパスの学生を対象に要望アンケートを実施して要望を収集します。

今年度はwebアンケートと街頭調査で収集しました。



要望書案の作成

学生自治会では要望アンケートの結果をもとに要望書案を作成します。また、要望内容の裏付けとなるような調査資料などの補足資料を掲載した要望書資料も合わせて作成します。

要望書案については、その内容が本当に学生の実情に即したものであるのかを判断してもらうため、2018年度後期自治委員会総会にて提議します。

要望書説明会の開催

学生自治会は、大学執行部に対して学生の実情を直接説明し、要望の実現を働きかけるための要望書説明会を行います。

また、要望アンケートで皆さんから寄せられた要望・意見のうち、要望書に記載していないものについても今後の大学運営の参考にしてもらうために要望書説明会において意見集として大学執行部に提出します。



要望書公開回答の実施の協力を大学に要請

公開形式での回答では大学執行部から直接回答が得られ、また学生が大学執行部に対して直接質問・意見することも出来ます。そのため、公開回答は学生と大学がお互いの実情を知り、理解を深めることのできる貴重な機会であると学生自治会は考えます。

そこで、学生自治会は要望書に関する大学からの回答を公開形式で行えるよう大学に協力を要請します。

また、公開回答の開催が決まった際は学生に対して情報宣伝を行います。

